

政治②「基本的人権の尊重」

# 社会権・さまざまな人権 **B**

 7分

1. 右の年表を見て、次の問いに答えなさい。

- (1) 年表中のAについて、その後の政策の不十分さなどから続いた差別問題の解消を目指して行われたことを、年表中のA～Eから1つ選び、記号で答えなさい。

[1]

年代	できごと
1871	いわゆる「解放令」が出される……A
1946	日本国憲法が公布される
1947	a教育基本法が公布される 労働基準法が公布される……………ア
1965	同和对策審議会が答申を出す……………イ
1979	国際人権規約を日本が批准する
1985	男女雇用機会均等法が公布される…ウ
1997	アイヌ文化振興法が公布される……エ
1999	b情報公開法が公布される

- (2) 年表中の下線aの法律で定められている義務教育について、「義務教育」という語句の「義務」が意味する内容として最も適当なものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 国民が、普通教育を受ける義務。
- イ 国家が、国民に普通教育を受けさせる義務。
- ウ 保護者が、保護する子に普通教育を受けさせる義務。
- エ 教師が、学校で普通教育を行う義務。

[2]

- (3) 年表中の下線bの法律は、日本国憲法に明記されていない「新しい人権」の1つがもとになって定められたものである。その「新しい人権」として最も適当なものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア プライバシーの権利      イ 裁判を受ける権利      ウ 知る権利
- エ 思想・良心の自由

[3]

次ページにつづく▶▶▶

2. 次の文は、日本国憲法の一部である。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

第12条 この憲法が国民に保障する自由及び権利は、国民の不断の努力によつて、これを保持しなければならない。又、国民は、これを濫用してはならないのであつて、常に **a** 公共の福祉 のためにこれを利用する責任を負ふ。

第20条① **b** ( ) の自由は、何人に対してもこれを保障する。(以下略)

第21条① 集会、 **c** ( ) 及び言論、出版その他一切の表現の自由は、これを保障する。

第26条① すべて国民は、法律の定めるところにより、その能力に応じて、ひとしく ( **X** ) を受ける権利を有する。

② すべて国民は、法律の定めるところにより、その保護する子女に普通 ( **X** ) を受けさせる義務を負ふ。義務 ( **X** ) は、これを無償とする。

第27条① すべて国民は、 ( **Y** ) の権利を有し、義務を負ふ。

第30条 国民は、法律の定めるところにより、 ( **Z** ) の義務を負ふ。

(1) 文中の下線 **a** について、公共の福祉を理由にした基本的人権の制限として **不適当なもの** を次から1つ選び、記号で答えなさい。

**A** 法律に定められた感染症にかかっていることを理由に入院させられ、移動の自由を制限された。

**I** 高速道路上で、警察の交通取り締まりを批判するデモ行進を始めたら、警察官に止められた。

**U** 診療所を開業しようとしたら、医師の資格をとらない限り認められないと役所から言われた。

**E** 新しい鉄道の建設のために必要だとして、所有していた土地を突然、無償で国に取り上げられた。

[4]
-----

(2) 文中の下線 **b** は「宗教を自由に信じる権利」、下線 **c** は「同じ目的をもった人々による継続的な団体」を、それぞれ意味する語句である。それぞれの ( ) に入る語句を答えなさい。

<b>b</b>	[5]	<b>c</b>	[6]
----------	-----	----------	-----

(3) 文中の ( **X** ) ~ ( **Z** ) に入る語句を答えなさい。なお、3つある ( **X** ) には同じ語句が入る。

<b>X</b>	[7]	<b>Y</b>	[8]
<b>Z</b>	[9]		